

東京海上日動 2022 マリンセミナー 「今後の海外投資におけるカントリーリスクと対処」

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が続いておりますが、一方で、ここ数年、貿易・経済連携協定の締結が進み、海外投資を支える制度は一層整備されつつあります。

本セミナーでは、昨年度のセミナーでもご紹介した「海外投資における二国間投資協定の利活用」について、経済産業省にてUp-dateしたご説明を頂き、更に、弊社グループの東京海上ディーアール社にて、主にアジアのカントリーリスクの現状と見通しをご紹介いたします。

- 日時： **1回目：2022年2月10日（木）15:00-17:00**
2回目：2022年2月16日（水）15:00-17:00
(同一内容となります。)

- 定員：各回 400名（定員になり次第締め切らせていただきます。)

- 開催方法：オンライン形式（Zoomを使用してのセミナーとなります。)

＜第一部＞ 投資協定とその利活用について

講師：経済産業省 通商政策局 経済連携課 課長補佐 (併)国際法務室付
弁護士/ニューヨーク州弁護士 富松 由希子 氏

海外に進出を予定している/進出した企業が、進出先の国や国有企業の行為によるトラブル（収用・収益の大幅減などの権利侵害）への対応や事前予防、また権利侵害により被った経済的損害を回復するために活用できる投資協定の役割についてご説明します。

＜第二部＞2022 年のカントリーリスク動向と企業の対策

講師：東京海上ディーアール株式会社

ビジネスリスク本部 兼 戦略・政治リスク研究所 主席研究員 川口 貴久 氏
近年のカントリーリスクの動向、特に 中国、タイ、ベトナム 等で懸念されているカントリーリスク（特に紛争・政変等）の概要や見通しなどを説明し、それらに対して企業に求められる備えについてご案内します。

＜第三部＞ カントリーリスクのリスクヘッジについて

講師：東京海上日動火災保険株式会社 海上業務部

カントリーリスクへの備えとしての海外投資保険の概要をご案内いたします。